

農業技術情報

令和5年10月1日

池田町農業構造政策推進協議会

十勝農業改良普及センター

十勝東部支所 015-572-3128

J A 十勝池田町 572-3131

高島支所 573-2111

池田町産業振興課 572-3118

農作物の生育・作業の遅速(10月1日現在) ()内は平年値 移植てん菜のみ3町平年値の平均

作物名	遅速 日数	生育状況	農作業状況
秋まき小麦	-		は種始 9/19 (9/21) は種期 9/26 (9/26)
ばれいしょ	-		収穫終 9/14 (9/18)
大豆	+10	成熟期 9/21(10/01)	
小豆	+9	成熟期 9/ 6(9/15)	収穫始 9/17 (9/22)
菜豆(手亡)	+12	成熟期 8/24(9/ 5)	収穫始 8/26 (9/11) 収穫期 9/14 (9/21)
てん菜(移植)	-	根周 40.1 (40.3)cm	
てん菜(直播)	-2	根周 33.2 (34.6)cm	
牧草	-		収穫期 9/ 1 (9/ 8) 収穫終 9/28 (10/ 1)
サイレージ用 とうもろこし	-		収穫始 8/31 (9/16) 収穫期 9/20 (9/26)

畑作

<秋まき小麦>

1 遅まきの留意事項

は種が10月上旬になるほ場では表1を参考に種子の産地を確認し、は種量を設定してください。

遅まきの場合、特には種深度に注意してください。深度が深すぎると二段根、出芽ムラで初期生育が劣り、越冬前の生育量を十分に確保しにくくなります。

a 砕土を細かくしすぎない

b は種前に鎮圧する等の処理を行い、は種深度は2～3cm としましょう。

表1 産地別は種量（遅まきになるため、255 粒/m²で算出）

	千粒重 g	は種量 kg/10a
士幌産	42.9	12.2
足寄産	41.7	11.8
清水産	39.5	11.2
更別産	38.5	10.9

※は種量は、発芽率 90%として算出しています。
出芽率が低いほ場では1割程度増やしましょう。

2 施肥量

リン酸、カリ、苦土は、全量基肥として施用しましょう。

窒素は、越冬前に小麦が吸収する量は4kg/10a程度です。

過剰な窒素施用はコストが無駄になるほか、越冬後の茎数コントロールが困難になります。また、土壤凍結が浅い年では下層に流亡して地下水・河川汚染の原因となりますので、適正な施肥を行いましょう。

表2 は種時の施肥量（kg/10a）（北海道施肥ガイド 2020 より）

土壤型	窒素	リン酸	カリ	苦土
低地土	4	12	9	3
火山性土	4	15	10	4
台地土	4	14	9	4
泥炭土	4	14	10	4

3 雑草対策

優占雑草種に応じた除草剤を選択してください。雑草は「養水分の収奪」「病害虫繁殖の助長」などで、結果的に収量、品質の低下に繋がります。

除草剤を適正に使用し、雑草対策を行ってください。

表3 秋まき小麦は種後除草剤例

薬剤名	処理方法	使用時期	薬量 ml/10a	使用回数
ガルシアフロアブル ※1,2	全面土壤散布	は種後～出芽前 (雑草発生前)	150～250	1回以内
	雑草茎葉散布 又は全面土壤散布	小麦出芽直前～小麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	100～200	
ガレース乳剤 ※1,2	全面土壤散布 (雑草発生前)	は種後～出芽前	200～250	1回以内
		小麦出芽後～出芽揃期	150～250	
	土壤兼雑草茎葉散布	麦の1～3葉期 (雑草発生前～発生始期)	100～150	

※1 イヌカミツレが多発するほ場では、使用基準の範囲内において高薬量で使用する。

※2 両剤共に同一成分のジフルフェニカンを含んでおり、いずれか1回のみでの使用とする。

<豆 類>

1 小豆の収穫

収穫適期の目安は「熟莢率」で判断し、未熟粒、過熟粒にならないよう適期収穫に努めましょう。

表4 小豆の収穫適期の目安（H14・H16 中央農試 H9 十勝農試）

区分	収穫時期の目安	収穫早限の目安
ピックアップ収穫		熟莢率80%、子実水分25%程度
ダイレクト収穫	完熟期（熟莢率100% 子実水分16～18%）から 2週間以内	①汎用コンバイン（4条）～熟莢率90%、 子実水分25%程度 ②豆用コンバイン（2条）～熟莢率80%、 子実水分25%程度

2 大豆の収穫

ア 汚粒対策

青立ち株（わい化病株）や雑草（特に紫色の実をつけるイヌホオズキ）は事前に抜き取っておきましょう。

また、土砂の混入も汚粒の原因となるので、倒伏がみられるほ場や培土の高いほ場では刈り高さに注意して収穫作業を行いましょう。

イ 収穫適期

汚粒の原因に大豆の刈り取り時期も大きく影響します。子実水分が20%以下（最終は16%以下）とし、茎表面に「ぬめり」がある時は収穫を止めましょう。

また、刈り遅れも子実の外観品質に影響します。可能な限り適期収穫を心がけましょう。

※コンバイン収穫の場合、収穫適期幅は短いため、事前にコンバインの点検・整備を入念に行いましょう。熟莢率が100%となり、子実水分が20%以下となったら試し刈りを行いましょう。茎表面に「ぬめり」があるときは収穫を中止しまししょう。

<てんさい>

下記に注意し収穫作業を行ってください。

1 収穫時・貯蔵時の注意点

ア 収穫時の注意

- ・根腐症状など腐敗が生じている部分は別掘りとし、腐敗混入を防ぎましょう。
- ・収穫作業は輸送計画に基づき集荷日の2～3日前には終了しまししょう。

- ・タッピングの高さに注意しましょう。
- ・直播栽培では、移植栽培より根長が長くなります。収穫物の損傷状況を確認し、掘り取り深さや作業速度を調節しましょう。

イ 貯蔵時の注意

収穫したてんさいをほ場に一時堆積・貯蔵する場合は、必ず防水シートなどで被覆し、腐敗・乾燥・凍結を防止しましょう。また、降雨流入による腐敗を防ぐため、堆積場所の周辺に排水溝を設けるなど、排水対策も行いましょう。

2 床土の準備

来年用の床土を準備する際には病気の恐れのない土を用意し、pH測定後、6.0～6.5になるよう酸度を矯正しましょう。

野 菜

<たまねぎ>

(1) 有機物(堆肥)の投入

現状の地力を維持するためには、堆肥で2～3t/10aが必要とされています。堆肥等の有機物を投入し、気象変動に対応できる土づくりに努めてください。

(2) 透排水性の改善

収穫や収穫物の搬送作業など、大型機械による踏圧により透排水性が悪化しています。コンテナ搬出後にサブソイラ等による心土破碎を実施してください。

(3) 土壌改良資材の施用

- ・たまねぎの適正pHは6.0～6.5、有効態りん酸は60mg～80mg/100gです。
- ・低pHやりん酸不足は、定植後の初期生育の遅れや葉先枯れ、登熟の遅れ等、生育に影響があります。また、りん酸の過剰は茎葉の早期枯れ上がりの原因となり減収につながります。
- ・土壌診断を実施し、健全なほ場管理を行ってください。りん酸、加里の蓄積が見られる場合は、減肥銘柄の選定により施肥バランスの改善を図ってください。

(4) 来年の苗床準備

- ・熟畑化した苗床は、有効態りん酸や加里の蓄積により土壌養分のバランスがくずれ、育苗中に生育障害が発生しやすくなります。
- ・事前に苗床のpH、ECを測定して、土壌分析値に基づいた土壌改良および適正施肥を行ってください。

(5) 融雪水の対策

ハウス周辺からの融雪水の侵入に注意が必要です。ハウス周辺の明きょ設置やハウスビニールの縁の埋設などの対策を行ってください。

<ヤマノイモ>

(1) つる切り、つる降ろし

- ・ つる切り、つる降ろしは、茎葉が十分黄変した後に実施してください。黄変前のつる切りは未熟いもの原因になるため注意してください。
- ・ 実施前に試し掘りをし、尻部が丸く硬くなっていることを確認してから行ってください。
- ・ 茎葉黄変になる前に霜を受けたほ場では、10月20日以降につる切りを行ってください。

※2006年に東部管内で実施した調査で、10月20日以前(茎葉黄変前)に強い霜を受けて茎葉が枯死しても、いもへの養分転流は進むことが確認されています。

～ 農作業事故防止に努めましょう ～

**例年、夏から秋の収穫時期に事故が多くなります。
特にハーベスタによる「挟まれ・巻き込まれ」の事故に十分注意しましょう。**

- ☆ **だぶつきのない格好で作業しましょう。**
- ☆ **緊急回転停止装置を複数装備しましょう。**
- ☆ **選別部に物が詰まった場合は、必ず回転を止めてから除去してください。**
- ☆ **機械走行中の飛び乗り、飛び降りは絶対にやめましょう。**
- ☆ **機械周辺では、声を掛け合って事故防止に努めましょう。**